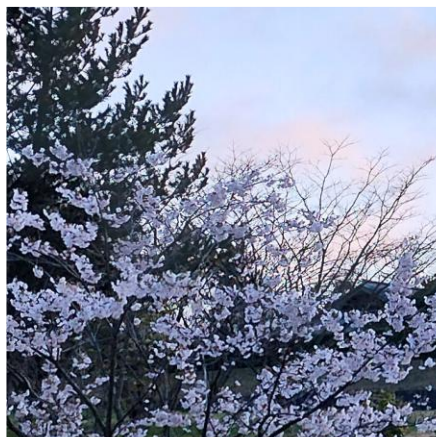
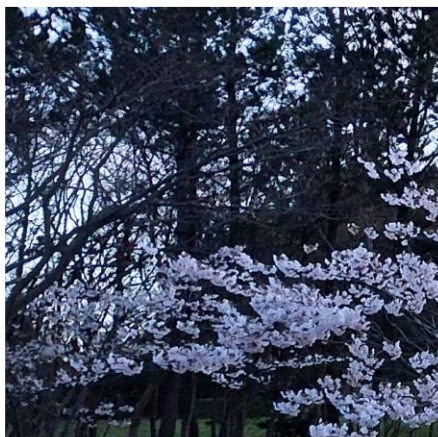
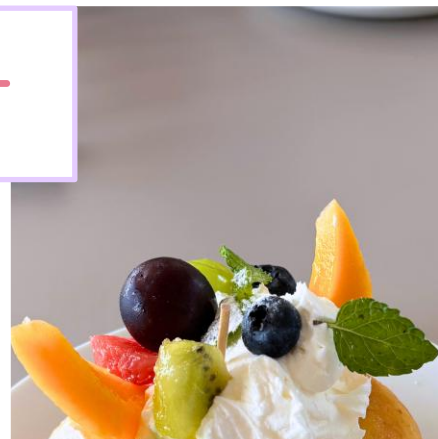
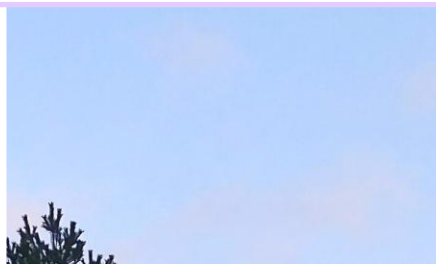
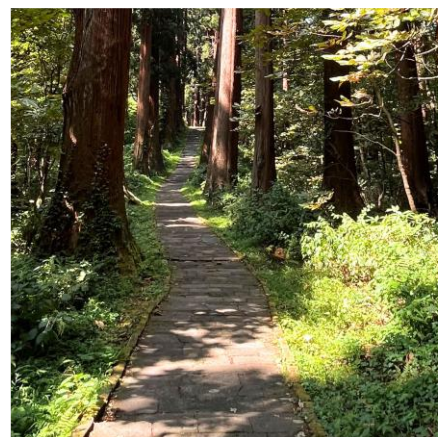
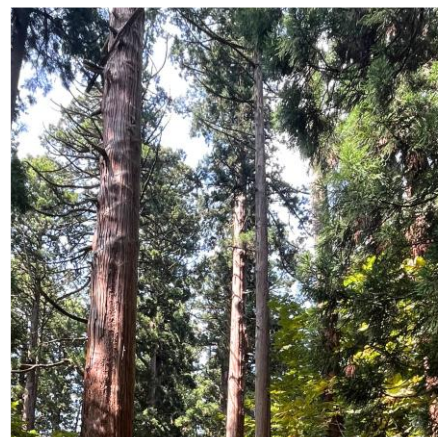
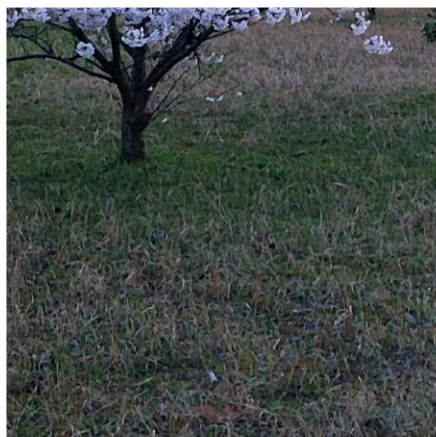


# ハタラクカタチ



VOL.7



# はじめに

皆さんこんにちは。ハタラクカタチです！

冊子をお手に取っていただきありがとうございます。

私達は、庄内において魅力ある企業を若者の目線で発信するために

「ハタラクカタチ」を結成し、令和元年度から活動しています。

ハタラクカタチというチーム名には、「一人ひとりの働き方」と「○や△など様々なカタチ」という意味が掛けられており、そこで働く人々の仕事のやりがいや目的は、一人として同じ形は存在しないだろうという思いが込められています。

今年の取材では、多くの東北公益文科大学卒業生の方々に取材させていただきました。

同じ大学の出身でも道は一つではなく様々あるということを学び、

自身の進路選択に対する視野が広がりました。

また、やまがたフルーツPR隊としての活動や他大学の学生との交流会など、

新たなことに挑戦した1年となりました。

協力いただいた皆様の思いが伝わるように今年もメンバー一丸となり、

試行錯誤を繰り返しながら、冊子作成にあたりました。

協力して下さった企業関係者の皆様に改めて感謝申し上げます。

この冊子を読んで、これから社会に出て頑張ろうと考えている若者や学生の皆さんに  
庄内の企業の魅力や働いている方々の思いが伝われば幸いです。



東北公益文科大学  
ハタラクカタチ  
2025年度プロジェクトリーダー


3年 今野美歩





# 目次



- 02 株式会社ト一屋
- 04 株式会社荘内日報社
- 06 社会福祉法人思恩会 七窪思恩園
- 08 株式会社イタガキ
- 10 酒田市企業見学ツアー
- 12 やまがたフルーツPR隊「YFP150」
- 13 庄内の魅力体感・若者交流  
バスツアー
-  14 ハタラクカタチのカタチ
- 16 メンバー紹介
- 17 おすすめサイト



過去の号はこちらから！



# 01

# 株式会社ト一屋



## 酒田の縁の下の力持ち

といちゃ

酒田市の家庭を支えるスーパーマーケット、ト一屋。身近だけど知らないト一屋の裏側を知りたいと思います。取材しました。今回は28年ぶりの新店舗であるいろは蔵パーク店にお邪魔しました。ト一屋は昭和23年に酒田市中町で創業しました。「うまいものならなんでもト一屋、いつも新鮮 近くて便利」のキャッチコピーの下、地域に特化した様々な商品を販売しています。

## 1日の業務内容

朝礼をして、昨日の売上高や客数、本日の売り込み商品を確認し、従業員の健康チェックなども行っています。開店までは従業員の作業の進捗状況の確認や陳列作業でのフォロワーに入り、開店後は時間別客数や客単価を分析し、販売計画の調整をしたり、従業員のシフト管理を行ったりしています。

## この企業に勤めた理由

大学進学を機に酒田から離れ1人暮らし中に風邪をひいてしまった時、両親へのありがたみや食事の大切さを感じたことがきっかけです。元々地元である酒田で働きたいという思いが強くあり、就職



## 地域と共に

氷河期のなかでも求人があった、地域に根差した地元のスーパーに勤めたいと考え、応募しました。

5月の酒田まつり、12月の大黒様のお歳夜など、地域のお祭りや行事に合わせた「お祭り御膳」を販売しています。玉子寒天や赤飯、ハタハタなど季節によって中身は変化します。ひとつひとつの料理を販売するのではなく、御膳として販売することで、一度で季節を楽しむことができます。また、庄内地域では玉子寒天がよく食べられているため、牛乳寒天やはちみつゆず寒天などを日替わりで提供しています。全国展開のスーパーでは難しい酒田な

ホームページはこちらから！



## 一味違った店舗づくり

いろは蔵パーク店を作るにあたって、既存店には無い特徴を出すために市場調査を行い、売り場の演出や商品企画などの販売戦略を考えました。看板部門の総菜部門を店舗入り口に配置し、ト一屋の店内でパンを製造する「インストアベーカリー」を新たに導入しました。お昼や夕方忙しいお客様にも買い物がしやすいようになっています。



# 大きな冷凍食品のコーナー

また、共働き世帯も増えたため、忙しい方でも簡単に食べられる、冷凍食品のコーナーは大きくしました。店舗づくりは内装だけではありません。いろは蔵パーク店のロゴの色は従来の赤色ではなく、緑色を採用しました。や

わらかいイメージの緑色で今までと違うト一屋をアピールしました。そして、挨拶を徹底しています。感謝の気持ちを忘れず、お客様の来店時、退店時は元気に挨拶をするように心掛けています。

### こだわり商品

昔から現在まで人気のお惣菜は「自家製コロッケ」で、どの店舗でも1番人気です。ト一屋のお惣菜センターで形成して店舗で揚げることで、ほかほかのコロッケを販売しています。



私の好きなお惣菜は「あつあつ海老天そば」です。電子レンジで簡単にできる商品となっております。さらに野菜やわかめを加えるとボリュームたっぷりになり、我が家では重宝しています。また「といちや丸(寿司)」と「といちやあん

### インタビューを受けてくれた方

#### 住石征義さん

役職：いろは蔵パーク店店長  
出身：酒田市  
おすすめスポット：田沢川ダム  
休日の過ごし方・趣味：ランニングをしています。1人でマイペースに続けられるところがいいです。昔は野球もしていました。



「ばん」はいろは蔵パーク店のみの限定商品なので、ぜひ味わってほしいです。毎日使うものの購入が来店のみで済むように、他の店舗より卵の価格を少し安くしています。ただ安くするだけではなく、販売店として、もう一品買っていただく工夫も試行錯誤しています。

### 若手社員も大活躍!

いろは蔵パーク店には新しい従業員も多く在籍・活躍しています。

老若男女問わず、わからないところは教えあえる環境で日々働いています。ト一屋で販売している商品は、若い従業員や女性従業員が中心になって開発しています。開発から販売までは

でも時間がかかるため、簡単なことではありませんがお客様の要望に応えられるよう、取り組んでいます。また「美味しい調理例」のポップは、若い従業員が自店舗の商品の勉強のために、実際に調理したものから作成しています。

### 経験が人生の財産に

私は学生時代、勉強だけでなく、運動、絵画



#取材風景

や歌劇の鑑賞などで感性を養ってきました。少しでも興味を持ったことは全力で挑戦してみたく

ださい。また、学生のうちから多くの人とコミュニケーションをとってほしいです。どんな仕事でも必ず力になると思います。

### あなたにとってハタラクとは

自分自身が成長することです。毎日の仕事の中では困難に直面することもありますが、その困難に打ち勝つ勇氣を養えます。また、我々の仕事はお客



#ト一屋いろは蔵パーク店にて

様との対話から生まれるものが多くあります。お客様との会話を通じて自分の人格も磨いていけると感じています。

### Yuna's voice

新しいいろは蔵パーク店だからその工夫を知ることができました。インタビューを通して真摯に向き合うことの大切さを感じました。私もアルバイトでお客様と話す機会があるため、この会話を通じて自分を磨いていきたいと思っています。



# 02

## 株式会社 庄内日報社

ホームページは  
こちらから！



### 皆に届ける新聞社

庄内日報社は昭和21年に創立し、主に庄内地域の出来事を紹介する新聞社です。特定の地域を対象にしているため、庄内地域の詳しいところまで知ることが出来ます。取材に訪れた日は新聞を作成するため事務所が忙しくしていました。酒田支社に勤務する東北公益文科大学卒業生の阿彦さんより取材にに応じていただきました。

### 日々の取材と原稿作成

庄内地方のエリア紙である庄内日報は、鶴岡地域では夕刊、酒田地域などでは翌日朝刊として配布しています。そのため、常に締切時間を考えながら業務にあたっています。私の場合、出社後は前日の取材内容について午前中に原稿を書いて本社へ送ることが多いです。午前に取材して、その日の午後には書くこともあります。現地では話を聞き、必要に応じて写真を撮影し、その内容を正確に、かつ分かりやすくまとめることを意識していますが、未だに未熟なところが多く、原稿作成に時間がかかることもあるので、経験を重ねて効率良く仕事ができるようになることを目標にしています。

### 記者になった理由

庄内日報社に入社したきっかけは、以前別の会社と一緒に働いていた社員の方から声をかけてもらったことです。新聞社の仕事というと、事件や事故などの速報性の高いニュースを扱う印



# 酒田支社で記念撮影

### 支え合う職場環境

職場は全体的に落ち着いた雰囲気です。取材の割り振りは先輩記者が行い、それぞれの経験や得意分野を考慮しながら担当を決めています。

また、誰かが休みを取った場合でも、サブ担当が自然にフォローに入る体制が整っています。ひとりに業務が集中しないよう、困ったことがあればすぐに相談できる環境です。こうした支え合いの仕組みがあることで、記者ひとりひとりが安心して取材に臨んでいます。

### 新聞がつくる「特別な時間」

庄内日報の読者は高齢者が多く、新聞は日常生活の中で大切な情報源となっています。そのため、実際に現地へ足を運ぶことが難しい人でも、記事や写真を通して「出かけたような気持



## インタビューを受けてくれた方

### 阿彦深智さん



所属：酒田支社  
 出身：岩手県  
 おすすめスポット：  
 玉簾の滝、胴腹滝、京田川  
 越しの鳥海山が見える出羽大橋  
 休日の過ごし方・趣味：温泉巡りをしています。山形県内にはどこにも温泉があり、日帰りでも毎週違うところに行けるので最高です。

「ち」になってもらえるような記事作りを意識しています。  
 印象に残っている出来事のひとつが、高校の演劇部取材した時のことです。少人数でも頑張って活動している様子を紹介した後日、部員のお父さんから「新聞に載った記念に家族で焼肉を食べた」と聞き、新聞が人の心に残り、家族の思い出を作るきっかけにもなることを実感しました。

### 荘内日報について

記事に基本的に記者名を入れないのは、読者に内容を客観的に受け取ってもらうためです。記者自身の意見や主張を示す必要がある記事についてのみ署名を入れています。

また、各学校の先生方から情報提供をいただくこともあり、地元の子どもたちが日々努力し、地域の中で頑張る姿を伝えることが地域の関心や誇りを育て、結果として地域全体にとってプラスになると考えています。

### 取材で大切にしていること

取材を受ける人の気持ちに配慮することを特に大切にしています。話し方や質問の仕方ひとつで、相手の受け取り方が変わるため、状況に応じた言葉選びを心がけています。

令和6年7月に発生した豪雨災害の取材では、その難しさを強く感じました。被害の大きさを正確に伝える必要がある一方で、被災者の中には「同情されたくない」という人もいました。



#取材風景



#数々の資料

この経験を通して、事実を伝えることと、相手の感情に寄り添うことの両立が、新聞記者には求められていると感じました。

また、どの取材でも事前に情報収集を行い、分からないことは素直に質問する姿勢を大切にしています。

### 学生時代の学びと今の学生へのアドバイス

学生時代は先生との距離が近く、失敗しそうな挑戦であってもよっぽどのがない限り止められることはありませんでした。失敗すると、先生たちは学生たち自身で反省点を考える機会を設けてくれ、その上で助言をもらっていたと思います。

その経験から、失敗は次につながる大切な学びであると感じるようになりました。今の学生には、結果を恐れずに挑戦してほしいと思っています。実行委員会や課外活動など、少しでも興味を持ったことに積極的に関わること、視野を広げることができると考えています。

### あなたにとってハタラクとは

興味を持つことです。取材の現場では、自分が知らなかった分野の話聞くことも多くあります。

興味を持たなければ、相手の話を深く理解することはできません。知らない世界に触れ、その背景を知ろうとする姿勢が、より良い記事につながると思っています。働くことを通して、自分自身の知識や価値観が広がっていく点も、記者の仕事の魅力のひとつです。

### Rakuto's voice

私が高校生の頃、新聞部に所属していたこともあり、ためになる話を聞く事が出来て嬉しかったです。また、働き方についても自分の就職先を考えるいい材料になると感じました。



# 03

## 社会福祉法人 思恩会

ホームページは  
こちらから!



### 社会福祉士への道のり

中学生時代にいわゆる保健室登校をしていた同級生がいて、「どうしたら教室に入れるようになるか」と考えたことがきっかけで、助けが必要な子どもを支える仕事に就きたいと思いました。教員や臨床心理士なども候補にありましたが、社会福祉士が自分のやりたいことに一番近いと思いました。そして小学生から続けているサッカーができ、社会福祉士の資格を取得できる公益大への進学を決めました。

### 愛情たっぷり第2の家

今回は、児童養護施設七窪思恩園取材し、東北公益文科大学卒業生の富樫さんにお話を聞きました。さまざまな事情により家庭での生活が難しい子どもたちが、安心して暮らせるようにする支援について伺いました。日々の生活に職員が寄り添いながら成長を支え、地域やボランティアとの関わりや退所後の支援も大切にしていることが分かりました。

### 業務内容

子どもたちの朝の起床から就寝までの生活全般を支援しています。朝は起床、朝食、登校の見送りから始まり、日中は施設内の掃除、食材や日用品の買い出し、子どもたちのお小遣い管理、通院の予約、学校や児童相談所との連絡などを行います。子どもたちの帰宅後は宿題や遊び、入浴の声かけなどをして、寝る前には一対一で話す時間を大切にしています。普段皆さま



んがおうちで過ごしているようなことを園の中でしています。

### 子どもと関わる、成長を見守る上で大切にしていること

学生時代から得意なサッカーなどで子どもたちと一緒に活動して関係づくりをしています。

また、子どもの話を最後まで聞くことを大切に、どんな話でも丁寧に受け止めるように意識しています。なかなか心を開いてもらえないときは、無理に距離を詰めようとせず、園内での子が信頼できる大人が一人でもいればいいと考えています。進路選択や友人関係、受験など子どもたちにとって初めての経験に直面した際は、できるだけ多くの情報を示し、自ら選択できるように支援しています。



#取材風景

### 公益大での学び

学生時代は、学業と課外活動の両立が大変でした。社会福祉士養成課程とサッカー部の活動を忙しい日々の中で、時間を工夫しながら取り組んでいました。大学の授業では、小関久恵先生の「仕事を分ける」という話が印象に残っています。実際に、気持ちをうまく



## インタビューを受けてくれた方

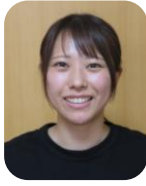
### 富樫美紗子さん

役職：児童指導員  
家庭支援専門相談員

出身：庄内町

おすすめスポット：海、  
Gatti Amando、まちなかキネマ

休日の過ごし方・趣味：友達とご飯を食べに行ったり映画を見たり、サッカーをして過ごしています。サッカーでは社会人チームに所属しています。



## 地域との関わり

学習ボランティアには、高校生や大学生、年配の方などが幅広く参加して

く出せない子からの暴言や試すような態度を示された時は、仕事をしている私が受けている言葉であって、プライベートの私が受けているのではないと考え、勤務後は気持ちを職場に置いて帰るようにしています。また、現在は在籍していませんが、鎌田剛先生の自己理解や自己開示の授業も印象に残っており、今の仕事での子どもたちとの関わり方の基礎になっています。大変な時は1人で抱え込まないようにし、職員と話すことでアドバイスをもらうようにしています。

## 資格や働き方

外部の方からお声がけいただいて、田植えや稲刈りなどの季節ならではのイベントも行っています。いろいろなたちとの関わりを通して、子どもたちには応援してくれる方たちがいっぱいいることを感じてもらい、地域の方には子どもたちの可愛いさを知っていただきたいと思います。

私は、学生時代に社会福祉士の資格を取得し、その後、会社の資格取得支援を使って精神保健福祉士を取得しました。会社では、



います。現役世代や知識が豊富な世代からの学習指導で、子どもたちも熱心に勉強しています。世間話や誕生日のお祝いの声掛けなどから、子どもたちと関係を築いていただいています。

## 学生へのメッセージ

できるだけいろんなことを経験してほしいと思います。私は学生時代に、高齢者や障がい者の施設でボランティアをしました。児童福祉と高齢者・障がい者福祉は関係が薄いように思えますが、実際の支援現場ではこの経験が生きていることが多く、様々な経験をしてよかったと感じています。将来の自分には関係ないと思うことでも、いつか年を重ねたとき役に立つことがあります。

働きながら仕事に関する資格を取得できるようにする支援があり、受講費の一部助成や勤務時間中の講座の受講などのサポートを受けられます。基本的には無資格では働くことができないので、ほとんどの職員が国家資格を持っています。

人事異動はほとんどありません。思恩会には子どもから高齢者まで複数の施設があるので、就職後に自分に向いていないと感じたときは希望を出すことで別の施設への異動が可能です。

## あなたにとってハタラクとは

人の役に立つことです。私が大学で学んだことやこれまで培ってきた自分の力を次の世代に繋ぎ、職員にも自分の知っていることを共有していくことで、周りの支えになればと考えていま

## Haruka's voice

常に子どもたちのことを第一に考え、できる限りの支援を行おうとする姿勢から、子どもたちへの深い愛情を感じました。また、気持ちの切り替えでは、仕事とプライベートの自分を分けるという考えは今後の生活に取り入れれようと思えました。



す。そして、ここにいる子どもたちが大人になっていけるように、自分の力を使って支援していくことが働くということだと思っています。



# 04

## 株式会社 イタガキ

ホームページは  
こちらから!



### 三川町から全国へ

今回は三川町に本社がある株式会社イタガキさんへ取材をさせていただきました。鉄骨製造技術で庄内地域から全国で活躍している企業です。鉄骨の設計から現場納品までを一貫して行っています。あの東京スカイツリーの建造にも関わっています。そんな企業で働く東北公益文科大学卒業生、竹内さんにお話を伺ってきました。

### この企業に就職しようと思った理由

大学4年間接客業のアルバイトをしていたのですが、接客以外の仕事をしたという気持ちがありました。父親や弟が製造業に勤めているというもあり、製造関係の地元で働ける仕事を探した時に「イタガキ」を見つけました。中でも、地元に残りながらものづくりに携わり活躍できるというところに魅力を感じました。

### 入社から配属まで

入社して最初は本社工場にある、一次加工班、組立班、溶接班、発送班という4つの班と、図面設計などを行っている生産設計部や品質保証部などを2週間ずつロー



テーションで研修を行いました。

工場では力仕事だけでなく、機械の操作を覚えたり、ガスを使用した切断機の操作の練習をし

たりするのですが、最初はやっぱり怖かったです。鉄が切れるほどの炎を見て、その「迫力」に驚きました。全ての仕事を回ったのですが、本当に自分のできるのかという不安がありました。様々な部署を回っていく中で、やはり当初から希望していた生産工程の管理をしたいと強く思いました。その後希望通り「製造部製造課」という工場

の生産工程を管理する部署に配属されました。

### 社内の雰囲気

以前は部署ごとに部屋が分かれていたのですが、2年程前から複数の部署が1つの部屋になったことで、よりコミュニケーションが取りやすくなり、業務がスムーズになったと感じています。先輩後輩で壁もなく、部署内や部署同士でもいいチームワークで業務を行えています。

新入社員や他部署で関わりの少ない方にも挨拶は必ず行い、社内の集まりなどでは必ず声をかけるように意識しています。

### 働き方

新規卒業者は年に1〜3人ほど採用されます。中途採用の方も多く、年々社員数が多くなってきているように感



## インタビューを受けてくれた方

### 竹内拓将さん

部署：調達部調達課  
出身：鶴岡市  
おすすめスポット：  
ラーメン屋「新三」  
「WARA-FUKU」



休日の過ごし方・趣味：よくラーメンを食べに行ったり、週に1回程度ジムに行ったりしています。ゲームや漫画も好きで、色々なジャンルのものを見たいです。

じます。育児休業制度も整備されており、男女問わず取得しやすい環境づくりが進められています。また、女性社員も設計・品質管理・工場勤務など様々な部署で活躍しており、長く安心して働ける職場環境の整備に努めています。

## 入社してから取得した資格



# 集合写真

入社後は国家資格である第一種衛生管理者など、複数の資格を取得しました。資格取得のサポートとして、一部資格には報奨金があり

ます。会社から取得を指示される場合もありますが、月額の給与に上乘せられる資格もあるので、自主的に資格を取得する人もいます。全体的に知識が上がるので、取得して損はないと思います。

## 現在の目標

2つの部署しか経験していないので、他の部署ではどのような仕事をしているのかをもっと深く知りたいです。AIを活用している部署やCADというパソコンの画面上で製図を行えるソフトを使用している部署に興味があります。どちらも現在の部署では使用しないので、将来的には使えるようになりたいと考えています。



## 学生時代にすべきこと



# 工場見学



インターンシップは絶対にしておくべきです。就職活動の際に、働くことについてどう感じたかを自身の言葉で言えるというのは大きな武器になると感じています。アルバイトを経験した人は多いので、名刺交換や社外の方への対応など実際に企業で働くイメージをつけることは、自分の強みをアピールする際の材料になります。

また、サークルに加入だけして活動には参加しなかったのですが、今思うと、そのような活動ができる機会は本当に貴重だったと感じています。今しかできないことをやるのは本当に大切です。サークルなどで友だちや仲間を作ること、講義で分からないことや日常で困ったことがあった時に頼れる人脈もできます。

これから一緒に働くなら、個人的には素直な人がいいと思います。

## あなたにとってハタラクとは

自身を成長させつつ、報酬を得られる場です。働くことは大変ですが、学生時代はWordしか使えていなかったのですが、Excelを使うようになりパソコンスキルの成長

## Miho's voice

初めて庄内地域にこのような企業があることを知りました。先輩卒業生の活躍を知り、様々な進路へ目を向けることの重要性を知ることができました。また、「製造業」と聞くと現場での仕事をイメージしがちですが、竹内さんのように縁の下の力持ちとして企業を支える仕事もあると知ることができました。



できています。世代や価値観の違う他者とのやりとりという点でも人間的に成長を感じています。



# 取材風景

# 参加しました！

## 株式会社良品計画

製造小売を中心とした無印良品事業を展開する。

無印良品 酒田では、まちの保健室として暮らしを支えるサービスも行っている。薬剤師さんなどへの健康相談、子ども薬剤師体験のイベントも開催され、日常のなかで健康を意識しやすくなっている。



### Hataraku's Voice

- カレーパウチは過剰包装がないため、環境にやさしいつくりになっています。味の工夫だけでなく、環境にも配慮していて素敵だと思いました。
- 「やりたいひとにチャンスを与える」という企業の姿勢は、社員の意欲向上につながると感じました。
- まちの保健室以外にも、みんなの本棚や様々なイベントから、無印良品 酒田だけの地域とのつながりが感じられました。



## 酒田市役所

行政サービスを担う地方自治体として住民の暮らしを支える。

44の部署があり、その仕事は市民生活や企業活動のあらゆる領域に関わる。人事異動があるからこそ、様々な業務に携わることができ、自身の成長に繋がる。

関連団体として酒田市産業振興まちづくりセンター「サンロク」があり、「人と人、企業と企業、人と企業をつなぐ」をコンセプトに商品開発や販路拡大のサポート、IT系の女性を増やす活動など、幅広い業務を行っている。



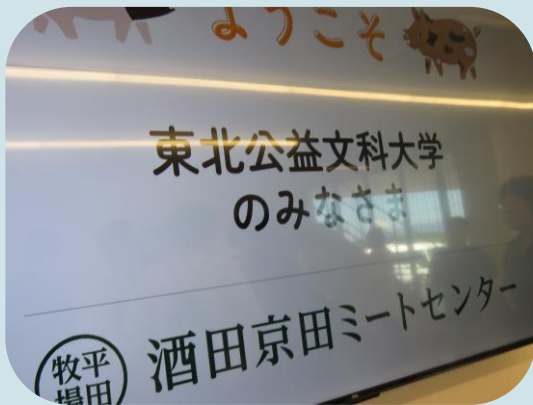
### Hataraku's Voice

- 異動があるため初めての仕事が多く、緊張しそうに思いましたが、それが市役所職員としての成長に繋がるとわかりました。
- 「サンロク」の取り組みは多様な働き方をサポートしていて、コワーキングスペースの運営は利用者それぞれの活動の仕方に合った空間作りになっていて感じました。
- 「サンロク」は地域の若者への支援も行っているため、何かしらのプロジェクトを実施したいと思っている人の背中を押してくれる、素晴らしいものだと思います。

酒田市主催

# 企業見学ツアーに

SAKATANTOで  
お昼ご飯



## 株式会社平田牧場

豊かな食生活・食文化を提案する健康創造企業として「食」を追求する。

生産から加工、販売まで行い、美味しいブランド豚を食卓にお届けしている。美味しい豚肉を届けるだけではなく、美味しい食べ方も紹介する。育児休業取得率が女性は100%、男性は50%と高く、会社復帰後も働きやすい職場環境となっている。

試食を  
いただきました！



### Hataraku's Voice

- 小さな子どもがいる人でも働きやすい職場となっており、社員にやさしい企業だと思いました。
- 工場は食の安全のために清潔を保つ取り組みが徹底されていました。
- 安全なお肉を届けるための努力を惜しまない姿勢を見て、より良いものにするために粘り強く続けることの大切さを感じました。

# やまがたフルーツPR隊 として活動しました！

令和7年は、山形県でさくらんぼや西洋なしなどの果樹の苗木が導入されてから150年の節目「やまがたフルーツ150周年」でした！

ハタラクカタチメンバーと公益大のサークルである酒田おもてなし隊が協力して、やまがたフルーツPR隊「YFP150」として活動し、酒田市内の見どころ3箇所取材しました。



## 本間美術館

館の歴史を伺ったり、展示品を紹介したりしていただきました。山形県産のフルーツでできたジュースをいただきました。清遠閣の喫茶室でゆっくりお庭を眺めながら味わうことができます。



## 小松久助梨園

酒田市刈屋地区にある梨園にお邪魔しました！当日は午後取材に伺ったのですが、すでに梨は完売！刈屋梨の歴史や美味しさの秘密についてお話を聞くことができました。



## 舞娘茶屋 相馬樓

初めに舞娘さんの演舞を見学。その後、小鈴さんと鈴華さんから酒田舞娘の歴史や、普段心がけていることなどたくさんの興味深いお話を伺うことができました。

取材記事はこちら！



前編



後編

山形県庄内総合支庁が企画

# 庄内の魅力体感・若者交流 バスツアー に参加しました

庄内地域在住、新潟県在住の大学生が庄内地域の魅力に触れ、学生同士がお互いの取り組みを知り交流を深めるバスツアーです！



## 松ヶ岡開墾場・シルクミライ館

庄内藩士が刀を鋤に変えて桑畑を開墾した歴史から、会社の発展までのお話を聞きました。



## ピノ・コッリーナ

栽培から醸造までのワインづくりを見学しました。  
ワイン用のブドウを味見しました。



## 鶴岡銀座商店街

懐かしい雰囲気のある商店街を歩いてまわりました。



## 慶應義塾大学先端生命科学研究所

研究所の研究・教育概要についてのお話を聞きました。  
先端技術がたくさんラボも見学できました。



## Hataraku's Voice

- ・ 企業や商品の背景としての物語が大切なことがわかりました。
- ・ 初めて知る庄内が多く、とても楽しかったです。
- ・ 庄内の食や環境の魅力を強く感じました。

# ハタラクカタチのカタチ

取材したい企業を選び、  
電話でアポイントを取ります。

事前に打ち合わせをし、  
質問内容を考えます。

取材風景



取材後は企業に  
お礼状を送ります。

冊子のデザインや  
記事を制作！

講師をお招きし、  
取材方法の  
勉強会を実施





# 活動の様子



# メンバー紹介



## 今野 美歩

質問①  
ゲーム配信を見ること  
質問②  
米津玄師  
「BOW AND ARROW」  
質問③  
はじめに・イタガキ  
YFP150・裏表紙

質問①  
最近ハマっていることは？

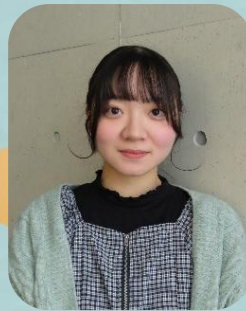
質問②  
好きな音楽は？

質問③  
担当した記事



## 諏佐 治香

質問①  
マンガを見ること  
ライブ参戦  
質問②  
NICO Touches the Walls  
「マシ・マシ」  
質問③  
思恩会



## 村木 悠奈

質問①  
特撮を見ること  
質問②  
FANTASTICS from EXILE  
TRIBE「Shake it off」  
質問③  
ト一屋・企業見学ツアー  
若者交流バスツアー



## 藤澤 陽葵

質問①  
アニメを見ること  
質問②  
Milet  
「Anytime Anywhere」  
質問③  
目次・おすすめサイト



## 高谷 楽人

質問①  
スピードスケート  
デュエマ  
質問②  
Mili「Gone Angel」  
質問③  
荘内日報社



## 佐々木 葵

質問①  
マイクラ建築  
質問②  
「ChooChooTRAIN」  
質問③  
ハタラクカタチのカタチ  
裏表紙



## 多田 壱颯

質問①  
アニメ・ゲームをすること  
質問②  
Snow Man「カリスマックス」  
質問③  
表紙・メンバー紹介

# 山形で就職を考えている方へ おすすめサイト

## 庄内地域版企業情報 ガイドブック

山形県庄内地域にある138  
事業所の企業情報が満載！



## 酒田市UIターン人材バンク

あなたの「酒田で働きたい！」を支援します。



## つるおか仕事ナビ

「鶴岡ではたらく」をサ  
ポート。就活に役立つ企業  
からの情報が満載！



## BIG JOB庄内

庄内地域に特化したお仕事  
大百科+求人サイト。あな  
たの目指す「働きかた」が  
きっと見つかる。



## 山形県就職情報サイト

山形県内の企業・求人・イ  
ンターンシップ情報が満載。  
山形で働く「先輩たちの  
声」も掲載！



## ヤマガタズカン

山形県に移住したい方向け  
の求人サイト。村山地域、  
最上地域の情報を掲載。



## 働いてよし&暮らしてよし むらやまの企業

学生の視点から村山地域の  
企業がもつ魅力をSNSで発  
信しています！



## ゆくゆく山形

山形のキャリアデザイン案  
内所。インターンや交流会  
の開催情報、求人情報を掲  
載！



## もがみ仕事の魅力ガイド

最上地域にある代表的な企  
業50社を対象に、経営者と  
若手社員へインタビュー。  
IIもあります！



## 技あり米沢

米沢市内企業の高い技術力  
を全国にPRするために開  
設された、ものづくり企業  
情報サイト。



©制作・編集 東北公益文科大学 ハタラクカタチプロジェクト  
©発行 令和8年3月 東北公益文科大学 地域共創センター  
〒998-8580 山形県酒田市飯森山3丁目5番目の1  
TEL：0234-41-1115 FAX：0234-31-2082 E-mail：kyoso@koeki-u.ac.jp

この冊子は令和7年度公益のふるさとづくり活動補助金(庄内開発協議会)の支援を受けて作成しました。

